

ぼくと私の神社ウオッチング



正式参拝



白井副庁長挨拶



大浜熊野太神社宮司挨拶



水族館



へきなんたんピア



電力館

愛知県神社庁は8月27日、碧南市にて夏季恒例の「ぼくと私の神社ウオッチング」を開催し、県内の神職子弟等112名が参加した。

本行事は各氏神様の護持運営を担う次世代の後継者育成を目的として毎年行われており、本年は三河湾に面する同市ならではの神社や施設を訪れ、豊かさとは何かを考える事を趣旨に掲げて実施した。

県内各地から3台のバスにて大浜熊野太神社に集合。生憎雨天ではあったが、境内全域を覆う松林の緑の濃さがより映えて独特の風情を醸し、児童も保護者も目を和ませていた。正式参拝では児童3人が玉串を奉奠し、引き続き結団式を開式。白井清夫副庁長より、「夏休みもあと僅か。ひょっとしたら宿題も終わってなくて心配かもしれませんが、今日はぜひ楽しんで下さい」と挨拶。次に同社鈴木閑宮司より御祭神や由緒等について説明があり、「昔からここは港町・農業の町です。そしてこの神社も、自然の恵みを受けた地元の方々の支えがあって成り立っています」と挨拶。ついで団長を務める三浦正典教化委員長からも「今日はいろいろな所を見て、夏休みの良い思い出として下さい」との発言があった。その後拝殿前にて地区ごとに記念撮影を行い、バスは碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館へ移動。ここでは湾内の生物や、食卓にもあがる多種の魚介類を目のあたりにして、その豊かな生態系を実感しつつ、同時に親子の絆を深めるひ

とときともなった。

雨もやみ、衣浦港湾会館でカレーライスの昼食をとった後、一行は中部電力のPR展示施設であるへきなんたんトピアを訪れた。まず同所内の電力館にて発電の仕組み等について実験を交えながら学んだ後、バスに乗り込んで国内最大級の規模を誇る火力発電所を見学。敷地内の貯炭場では、車窓から膨大な量の石炭が高く積み上げられている光景に驚きの声があがった。同所のガイド職員からは、これほど多くの石炭といえど僅かな日数で消費されるので、限られた資源を大切にしましょうと説明があり、皆真剣に聞き入っていた。

そして電力館に帰着後解団式を行い、三浦教化委員長から、「今日は楽しかったですか。来年も是非参加して下さい」と御礼を兼ねつつ挨拶が述べられた。最後にあおいパークに立ち寄り、全員にお土産のイチジクと団扇が配られて帰路についた。